

福祉科1年 音楽療法講習会

平成30年7月19日(木)に、福祉科1年生40人(男子3人、女子37人)が大垣女子短期大学音楽総合学科准教授の小西文子先生から音楽療法について学びました。

音楽療法とは？

音楽のもつ生理的・心理的・社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上等、行動の変容などに向けて、音楽を意図的・計画的に使用すること

アイスブレーキング



先生のギターに合わせて
後出しじゃんけん!
「じゃんけんぽん！」

音楽療法を始める前に緊張をほぐす効果があります!



楽器を用いた音楽療法演習



<使用した楽器>

- ・マラカス
- ・鈴
- ・鳴子

<音楽>

- ☆青い山脈
- ☆憧れのハワイ航路
- ☆高校三年生



身体全体を使った音楽療法演習



身体全体でドレミの音階を表現します。

誰もが知っている童謡に合わせて身体を動かすので、リハビリにもつながります。



生徒の感想

*音楽療法を体験して、楽器を鳴らしたり、歌を歌うだけが音楽療法ではないと実感しました。若い頃に流行った懐かしのメロディーは、利用者の方にとって青春時代を思い返す効果があり、時間がタイムスリップしたように感じると思います。今回学んだことを、デイサービスセンターでの介護実習で取り入れていきたいです。